

住宅防火いのちを守る 7つのポイント。

— 3つの習慣・4つの対策 —

【3つの習慣】

- 寝たばこは、絶対やめる。
たばこの不始末による火災で死者が多く発生しています。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
ストーブに燃える物が接触し、火災が多く発生しています。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
調理中はコンロから離れないようにしましょう。

【4つの対策】

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
住宅用火災警報器は、すべての住宅で寝室、台所、階段に設置しなければなりません。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
防災品を使用することにより、火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。
- 火災が小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
初期の消火で火災による被害が大幅に軽減されます。消火器を設置するとともに、使い方を覚えましょう。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。
ご近所同士で声をかけあい、火の用心に心がけ、火災を発見したら、大声で周囲に知らせ 119 番に通報しましょう。

